



大石小 Times



6月朝会 「競うことの意味」について

お伝えしたいことが多くて、6月朝会の話の紹介が今頃になってしまいました。6月朝会は「競うことの意味」についてお話ししました。運動会を終えて、子どもたちに「なぜ競うのか」を考えてほしかったからです。

「何の目的のために競争しているのか、ちっとも分からずに競争することには何の価値も進歩もない」
私は、何年か前に作家の五味太郎さんのこの言葉を本で読み、妙に納得してしまいました。ゴールを「勝つこと」にしていると、勝ってそのとき嬉しいだけ、負けただけがっかりしただけで、何も残らないなと思ったのです。

勝つために自分はどうすればよいのか、自分がどうなりたいのか、何をめざすのか、自分の目標をもって、考えてやってみることが競争することのよさなのではないでしょうか。**ちよつとでもなりたい自分に近づけたなら、競争した意味があった**と思うのです。勝負の勝ち負けなんて小さいこと・・・という私も、子どもの頃それができていたかという微妙です。子どもの頃は必死で、大人になってから気付くことなのかもしれません。だからこそ、今まさに心も体も成長するこの時期の子どもたちに伝えたいと思いました。

学校生活の中にも体育、マラソン、テスト・・・勝ち負けや点数、順位がつくことがたくさんあります。その学習が終わったときにどんな自分になっていたいのか・・・**「なりたい自分を追い越せるか」**が本当の競争なのかと思います。どんな学習も、ちよつと頑張れば達成できそうな「自分のゴール」にむかって、それぞれが選んだ方法で歩み、なりたい自分を更新して行ってほしいです！

なぜ競争(きょうそう)するの？

うんどうかい たいくく じかん
運動会・体育の時間など...

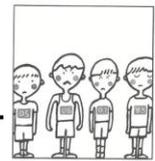


まけてはらが立つなら...
くやくしてつらいのに...
レクリエーションでいいのでは？
順位を決める必要がある？



競争について

ごみ たろう
五味太郎さんは...



自分の「めあて」がだいじ

なに もくてき きょうそう
何の目的のために競争をしているのか分からずに競争することには何の価値も進歩もない。



い なか
生きていく中には
たくさんの競争が...
がっこう
学校でも...



競争(きょうそう)するとき...

か じぶん
勝つために自分は
どうすればいい？

自分はどうなりたい？

ほうほう
どんな方法で？

競争するよさ



負けても心と体は
せいちよう

めあてをもつ 自分で考える
やってみる ふりかえる

→ **成長**

みなさんはどうでしたか？ なりたい自分にちかづけましたか？

かきゅうせい かんじゆ
下級生に感謝できた

ぜんりきよく こゑ だ
全力で声を出せた

ともだち きょうりよく
友達と協力できた

ともだち たいすけ
友達を応援できた

負けても全力で
はしれた



競争した意味

やらされる



たのしくない
力もつかない



きそわされる



かってそのときうれしい
だけ
まけてがっかりするだけ

じぶん
自分のめあては何かを考えて！
すべ
全ての学習はめざす自分との競争です！